



# 児童発達支援事業所すくすく親子教室 支援プログラム

## 基本情報

**運営理念** こども一人ひとりの特性やニーズに応じた発達支援、合理的配慮、家族支援、事業所や関係機関と連携した切れ目のない支援の提供を行うとともに、地域社会への参加・包摂（インクルージョン）を推進します。

**運営方針** 日常生活における基本的動作の習得と集団生活に適應できるよう、乳幼児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な療育支援・相談を行います。

営業時間：火曜日～土曜日 午前9時から午後5時まで（日曜、月曜、祝日、年末年始等休室） 送迎実施：なし






## 支援内容

- ・親子での小集団療育（6～10組）です。週1回、1時間半、年齢を考慮したグループを組んでいます。
- ・「個々の“わかる”に合わせた経験の積み重ね」を大切にしています。
- ・遊びを通してさまざまな感覚から学習する機会を提供し、成長発達を促します。
- ・個別支援計画を作成します。（6か月に1回程度）



### ●療育スケジュール（本人支援・家族支援）

プログラム	内容（5領域との関連性）
入室・荷物の整理	自分のマークの棚などに荷物を片付ける。（健康・生活）
遊具であそぶ	いろいろな遊具であそぶ。好きな遊びを選んでおとなや他児と一緒にあそぶ。（運動・感覚、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）
始まりの会 	おとなの働きかけに関心を向け真似てみようとする。みんなで一緒にあいさつをしたり、歌を歌ったりする中で、自分や友だちのことを意識する。一日の流れを知る。（言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）
体操・ふれあいあそび	いろいろな感覚を楽しむ。曲に合わせて体を動かそうとする。同じようにやってみようとする。（運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性）
設定遊び（課題遊び） 	始まりや終わりに気づき活動に参加する。体育遊び、手指を使った遊び、感触遊び、散歩、リズム遊びなど、課題に合わせた遊びに保護者やみんなと一緒に参加し楽しむ。（運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性、健康・生活）
見る活動・終わりの会（水分補給を含む）	見る活動（パネルシアターや大型絵本など）に参加する。スケジュールを振り返る。（健康・生活、言語・コミュニケーション）
荷物の整理・退室 	自分の持ちものをリュックに入れる、靴下や靴を履いて退室する。（健康・生活）
その他	手洗いをする。身体計測、着脱の練習をする。（健康・生活） 季節の行事を手遊びや体操、見る活動の中に取り入れています。

- その他の家族支援：個人懇談、グループ懇談会、学習会、卒室後の交流会・相談、療育中のあずかり
- 移行支援：集団生活につながる活動を組み込んだプログラムの実施
- 地域支援・連携内容：各機関、事業所からの見学を随時受付
- 職員の質の向上に資する取組：事業所内研修、実践報告、外部研修受講、研修報告会、事業所交流会参加（当教室では、保育士、児童指導員、心理判定員を配置）



### ★集団（グループ）療育：1日6グループ

- ①10:00～11:30 2グループ
- ②13:15～14:45 2グループ
- ③15:00～16:30 2グループ

### ★入室随時（教室の空き状況によります）

- ★期間 1年
- ★定員 1日48人まで